

## 令和4年度 学校経営計画

### 1 学校教育目標

健やかな身体と豊かな人間性、社会的・職業的自立に必要な力を養い、社会に貢献できる生徒を育成する。

＜校訓＞ 挑戦 自立 共生

### 2 学校の特徴

- ・本校は、障害の程度が比較的軽い知的障害のある生徒を対象とした高等支援学校であり、1学年3学級24名を定員としている。
- ・卒業後の一般企業等への就職のために必要な社会的・職業的自立に向けた指導を行うために、職業学科（生産・サービス科）が設置され、職業教育のための施設や設備の充実が図られている。
- ・作業学習では、実践的な働く力と社会性が身に付くように、「近隣施設等での実習」「企業からの受注作業」「外部講師による専門的な指導」等、地域や地元企業と連携して、具体的・実践的な体験を重視した教育活動を計画的に展開している。
- ・今年度、創立10周年を迎え、全教職員で「学校グランドデザイン」を作成し、本校の理念や教育目標の具現化・共有化を目指していく。

### 3 学校の現状と課題

#### (1) 現 状

- ・本年度、22名の1年生が入学し、2年生24名、3年生16名と合わせて在籍数62名となった。軽度知的障害の他に発達障害や精神疾患などを併せ有する生徒も在籍しており、生活習慣、人間関係、コミュニケーション面などについて指導や配慮が必要な者もいる。
- ・生徒の社会的・職業的自立に必要な力を養うため、毎年見直しを重ねているシラバスに基づき、各教科等の学習を系統的・段階的に進めている。授業におけるICTの活用を進めているが、主体的・対話的で深い学びを実現するための授業づくり、考えや意見の表出・共有につながる効果的なタブレット端末等の活用や生徒の適切な情報活用能力の育成は十分とはいえない。
- ・進路指導主事や特別支援学校就労応援コーディネーターが中心となり、担任等と連携して職場開拓や就業体験等についての業務を進めている。3年間で7回実施する就業体験に向けて、生徒の特性や適性、希望に合った体験先となる企業を確保し続ける必要がある。
- ・教育相談関連行事等において、中学校教員や保護者から、卒業後の就労生活に関する質問が年々増加してきたことや本校が高等学校における就労支援のセンター的役割を担っていることから、教育相談啓発活動の一層の充実が求められている。

#### (2) 課 題

- ・生徒が自身の健康状態や健康課題を知り、自己管理の必要性を理解して在学中から健康保持に努めることができるようにするための学習機会の設定が必要である。
- ・生徒が進路について主体的に考えるための企業見学や体験の機会を設定したり、本校で学ぶ生徒の様子や本校の取組について企業に理解してもらうための学校見学等の機会を設定したりする必要がある。
- ・教育相談関連行事等で活用している資料（Q&A）について、就労や卒業後の生活に関する項目・内容をニーズに応じて見直す必要がある。また、本校を進学先の一つとして考えている中学生や保護者、関係機関、卒業生等が、学校行事への参加が制限される状況下でも情報を得やすく、活用しやすいホームページとなるよう改善する必要がある。

#### 4 学校教育計画

| 項 目 |                    | 目標・方針及び計画 |   |
|-----|--------------------|-----------|---|
| 1   | 学習活動               | 目標        | 教育目標の具現化・共有化を目指した「学校グランドデザイン」の作成と共通理解   |
|     |                    | 計画        | <ul style="list-style-type: none"> <li>教育目標、「社会的・職業的自立」の具体的な姿、目指す生徒像に向かうプロセスや指導の在り方などについて全教員の意見を集約して「学校グランドデザイン」を作成する。</li> <li>「学校グランドデザイン」を教職員、生徒、保護者、地域、企業・関係機関と共有し、学習活動や教育活動に反映していく。</li> </ul>   |
| 2   | 学校生活<br><b>重点1</b> | 目標        | ○健康的な生活習慣を獲得するための自己管理能力の育成  |
|     |                    | 計画        | <ul style="list-style-type: none"> <li>ICTを活用した視覚的な「気付き」を促す指導を実施し、<b>口腔衛生に関する各自の課題を見付ける。</b></li> <li>生活習慣病予防の要素も含めた、養護教諭による歯科指導をクラス単位で実施する。</li> <li>歯科検診後に定期的に口腔内セルフチェックを実施する。</li> <li>指導の事前事後に生活習慣アンケートを実施し、<b>健康的な生活習慣を実践しようとする意欲の向上</b>を図る。</li> </ul>                          |
| 3   | 進路支援<br><b>重点2</b> | 目標        | ○生徒が主体的に進路について考えるための企業等との連携の推進  |
|     |                    | 計画        | <ul style="list-style-type: none"> <li>就労応援団とやま登録企業を対象とした<b>企業向け見学会において、学校の取組についての説明や授業見学の内容を充実させ、本校生徒及び障害者雇用への理解を促し、就業体験の受入や雇用促進等、連携について前向きに考えてもらえる</b>ようにする。</li> <li>就労応援団とやま登録企業に依頼し、職種別に3つの見学コースを設定し、生徒が興味や希望に応じてコースを選択でき、<b>見学後、生徒が就労への意欲を高め、就労に向けた選択肢が広がる</b>ようにする。</li> </ul> |
| 4   | 特別活動               | 目標        | ○生徒会活動の自主的な計画と運営  |
|     |                    | 計画        | <ul style="list-style-type: none"> <li>全県で取り組む「さわやか運動」の自主的な運営を目指して、生徒全員が参加・協力できる方法等について検討・協議を行う。</li> <li>生徒会が学校行事の企画や運営に参加できるように活動計画を工夫し、行事を通して学校生活をより楽しく過ごすための方法や内容について生徒自身が考え、意見を発表しながら進めていく機会を設ける。</li> </ul>   |
| 5   | その他<br><b>重点3</b>  | 目標        | ○本校を進学先の一つと考えている中学生に対する教育相談活動の充実  |
|     |                    | 計画        | <ul style="list-style-type: none"> <li>教育相談行事等で活用している<b>本校の特徴をまとめた資料(Q&amp;A)</b>について、<b>就労や卒業後の生活に関する項目・内容をニーズに応じて見直す。</b></li> <li>本校ホームページ(以下HP)が、閲覧者(本校を進学先の一つとして考えている中学生及び保護者、同窓生、関係機関、企業等)にとって、<b>学校行事への参加が制限される状況下でも情報を得やすく、活用しやすいHPの構成や内容について検討し整理する。</b></li> </ul>          |
|     | 情報                 | 目標        | ○生徒の主体的な学びにつながる効果的なICT機器の活用の促進  |
|     |                    | 計画        | <ul style="list-style-type: none"> <li>ICT教育推進のためのプロジェクトチームが中心となり、生徒が考えを表現したり学びを深めたりするツールとしてタブレット端末を活用したモデル授業を実施し、効果的な活用について学び合う。</li> <li>教員のICT機器活用の実態を踏まえて、ICT機器やアプリの活用の仕方についての研修を実施し、ICT活用指導力の向上に努める。</li> </ul>  |

## 5 今年度の重点課題(学校アクションプラン)

| 令和4年度 高岡高等支援学校アクションプラン - 1 -      |  |                                   |                                   |
|-----------------------------------|--|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 重点項目                              | 学校生活   |                                   |                                   |
| 重点課題                              | 健康的な生活習慣を獲得するための自己管理能力の育成  |                                   |                                   |
| 現 状                               | <p>本校は歯周疾患保有者が県平均（15.5%）に比べ、28.6%と多く、歯垢保有率も県平均（20.1%）に比べ30%と多い。</p> <p>本校の生徒は自分の生活を振り返って進んで改善しようとしたり、より健康的な生活態度を身に付けようとしたりすることが難しい。歯科指導において毎年、カラーテスターを使用した歯磨き指導や動画を活用した指導も取り入れて実施しており、指導直後は歯みがきの必要性を意識し、歯垢を残さない歯磨きをすることができる。しかし、時間が経つと指導の効果が薄れ、なかなか定着しない。</p> <p>う歯は受診や治療を要するため、家庭との連携が必要であり、本人の意識だけで改善することは難しい。しかし、歯周疾患や歯垢については、生徒自身が口腔内の清潔を意識し行動することで症状を改善することができる。口腔内を清潔に保つことで自分の健康課題に気付き、健康行動の獲得につなげていくことが必要である。</p> |                                   |                                   |
| 達成目標                              | <table border="1"> <tr> <td>口腔衛生に関する各自の課題を見付けることができた生徒の割合 90%</td> <td>健康的な生活習慣を実践しようとする意欲の向上がみられた生徒 70%</td> </tr> </table>   | 口腔衛生に関する各自の課題を見付けることができた生徒の割合 90% | 健康的な生活習慣を実践しようとする意欲の向上がみられた生徒 70% |
| 口腔衛生に関する各自の課題を見付けることができた生徒の割合 90% | 健康的な生活習慣を実践しようとする意欲の向上がみられた生徒 70%  |                                   |                                   |
| 方 策                               | <p>○ICTを活用した視覚的な「気付き」を促す指導を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科検診前の口腔内のセルフチェック</li> <li>・ 歯科検診時の口腔内の写真撮影、歯科医のコメントの記録</li> <li>・ 歯科検診時の口腔内写真で各自の振り返りを行い、改善点を見付ける</li> </ul> <p>○生活習慣病予防の要素も含めた、養護教諭による歯科指導をクラス単位で実施する。</p> <p>○歯科検診後に定期的に口腔内セルフチェックを実施する。</p> <p>○指導の事前事後に生活習慣アンケートを実施し、健康的な生活習慣を実践しようとする意欲の変化を図る。</p>   |                                   |                                   |

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:達成しなかった)

| 令和4年度 高岡高等支援学校アクションプラン - 2 - |   |
|------------------------------|---|
| 重点項目                         | 進路支援  |
| 重点課題                         | 生徒が主体的に進路について考えるための企業等との連携の推進   |
| 現 状                          | <p>本校生徒は卒業後の一般企業等への就労を目指し、企業等での就業体験を繰り返す中で、就労先を決定していく。そのため、各学年、年に2～3回計画している就業体験に向けて、生徒の特性や適性をふまえた体験先となる企業を確保し続ける必要がある。その際には、就業体験が生徒の主体的な学びの場になるよう、生徒の希望に合った職種について情報提供できることが望ましい。</p> <p>そこで、本校について理解し、就業体験や職場見学等への協力を得られる企業を増やすため、平成28年度より「TKS（高岡高等支援）未来応援団」を立ち上げた。また、企業向け見学会、特別支援学校就労応援コーディネーターによる職場開拓などを行ってきたことで、少しずつ就業体験に協力する企業が増えてきた。令和2年度より、富山県が立ち上げた「特別支援学校就労応援団とやま」においても、趣旨に賛同し、登録する企業が少しずつ増えてきたが、登録企業との連携が十分に図れていない現状がある。</p> <p>さらに、近年のコロナ禍が影響して、生徒が実際に企業を見学する機会が確保できず、生徒自身が企業就労を自分のこととして捉えることが難しくなっている。</p> |
| 達成目標                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校見学参加企業が、本校への理解を深め、本校生徒の就業体験の受入や雇用促進等、連携について前向きに考えることができる。</li> <li>・ 生徒が、職場見学後、就労への意識を高めることができる。</li> </ul>  |
| 方 策                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「就労応援団とやま」登録企業を対象とした企業向け見学会において、学校の取組についての説明や授業見学の内容を充実させ、本校生徒及び障害者雇用への理解を促す。事後アンケートを実施し、参加企業の連携についての意向を確認する。</li> <li>・ 「就労応援団とやま」登録企業に、職場見学の依頼をすると共に、職種別に3つの見学コースを設定し、生徒がコースを選んで参加できるようにする。実施の過程では、生徒の将来への選択肢が広がることを目標にして取り組むようにする。</li> </ul>   |

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:達成しなかった)

|      |   |
|------|---|
| 重点項目 | その他 教育相談・総務   |
| 重点課題 | 本校を進学先の一つと考えている中学生に対する教育相談活動の充実   |
| 現 状  | <p>創立10周年を迎え本校の教育活動について周知されつつあるが、中学校の生徒、保護者、新任の担当者等に対しては、常に本校の理解促進を行う必要がある。</p> <p>本校は、中学生の進路に係る教育相談が多く、高等学校における就労支援のセンター的役割も担っている。年々、教育相談行事等で卒業後の就労生活についての質問が増加していることから、本校の特徴をまとめた資料(Q&amp;A)をニーズに応じて見直していく必要がある。</p> <p>また、本校のホームページ(以下HP)は、啓発活動の一つとして開校初年度から学校の概要や日々の授業、行事等、本校の教育活動を紹介し情報提供してきた。HPの閲覧者(本校を進学先の一つとして考えている中学生及び保護者、同窓生、関係機関、企業等)にとって、分かりやすく必要な情報を得られるように、HPの見直しを図る必要がある。</p> |
| 達成目標 | <ul style="list-style-type: none"> <li>本校の特徴をまとめた資料(Q&amp;A)の「進路について」の項目の内容を見直す。</li> <li>学校行事への参加が制限される状況下でも、情報を得やすく活用しやすいHPの構成や内容について検討する。</li> </ul>   |
| 方 策  | <p><b>視聴覚資料の作成と活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本校教育活動の様子を画像や動画を活用した資料にまとめ、ニーズに応じて提示する。</li> <li>中学校訪問での質疑応答や過去の教育相談、教育相談行事での質問内容についての回答を整理し、本校の特徴をまとめた資料(Q&amp;A)を再編成し、関連行事等で活用する。</li> </ul> <p><b>学校ホームページの再構成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>HPについて、他校のHPを参考しながら改善点や要望等を集約する。</li> <li>閲覧者にとって情報を得やすい構成、内容について検討し整理する。</li> </ul>                        |

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:達成しなかった)